

TOTO

電気温水器



湯ぽっと RE-Mシリーズ

RE12M型

7 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。この施工説明書では、製品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、つぎのようになっています。内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が障害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。






絵表示についてはつぎの意味があります。




絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		水場で使用禁止
	必ず行う		アースを接続せよ

施工説明書

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者又は建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

 警告	
 禁止	屋内用ですので屋外には設置しないでください。 (感電や故障の原因になります。) コードを乱暴に扱ったり、がたついているコンセントに差し込まないでください。 (火災の原因になります。)
 必ず行う	使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。(火災の原因になります。) 電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行ってください。また、必ず漏電遮断器を取り付けてください。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)
 水場での使用禁止	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 (感電や故障の原因になります。)
 アース接続	必ずアース工事を行ってください。 (感電事故の原因になります。)

 注意	
 禁止	水道水以外は通水しないでください。 (井戸水等を通水すると腐食等により漏水するおそれがあります) タンクが空のときは、絶対に電源スイッチを入れないでください。 (空だきとなり故障・事故の原因になります。) 製品に強い力や衝撃を与えないでください。 (故障や水漏れの原因になります。) 専用湯水混合栓の吐水口にホースや浄水器などの抵抗となるものを接続しないでください。(機器の破損や漏水の原因になります。)
 必ず行う	凍結のおそれのある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜いてください。(「11 水抜き方法」を参照) (凍結により破損し、漏水するおそれがあります。)

おねがい

給水圧力は0.05~0.75MPaです。この圧力の範囲内でご使用ください。(0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。)

電源はAC100V (50/60Hz)、消費電力は0.5kWです。必ずこれに適した配線をしてください。

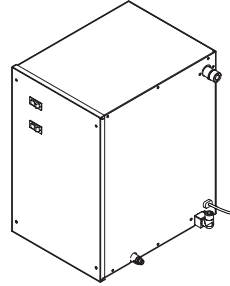
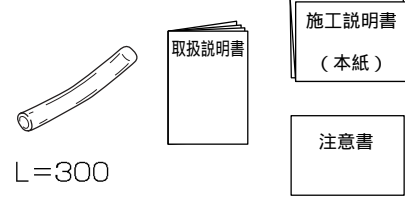
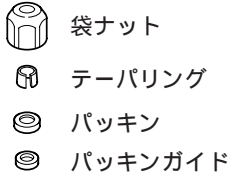
取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお取付日を必ず記入してください。

空だき、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

この電気温水器は元止め式です。湯水混合栓は専用湯水混合栓を必ず使用してください。
(先止め式の湯水混合栓を取り付けると、機器が破損し漏水の原因となります。)

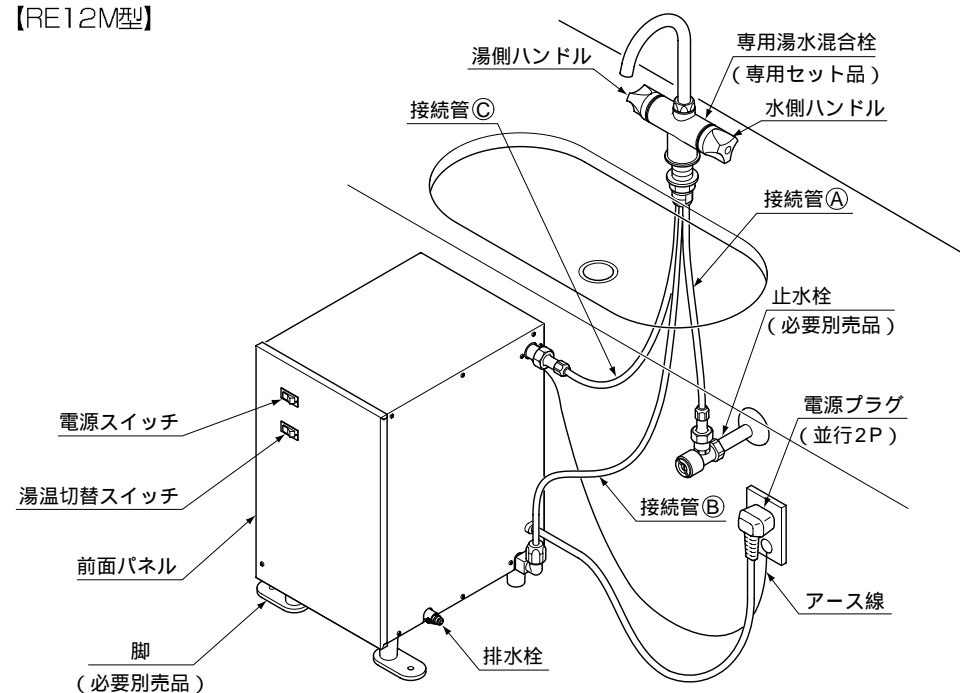
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

<p>①電気温水器本体</p>	<p>②排水ホース、取扱説明書（保証書付）、施工説明書、注意書</p>
	 <p>L=300</p> <p>お客様にお渡しください</p>
<p>③袋ナット、テーパリング、パッキン、パッキンガイド</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 袋ナット テーパリング パッキン パッキンガイド

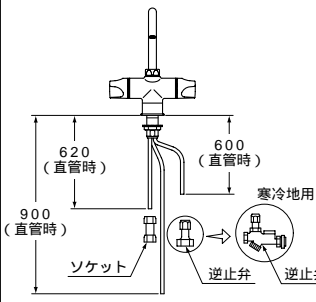
3 各部の名称

【RE12M型】



4 仕様

■専用セット品

品名	形状	品番	備考
2ハンドル混合栓		一般地用	TLS21-1EX
		寒冷地用	TLS21-1EUKX

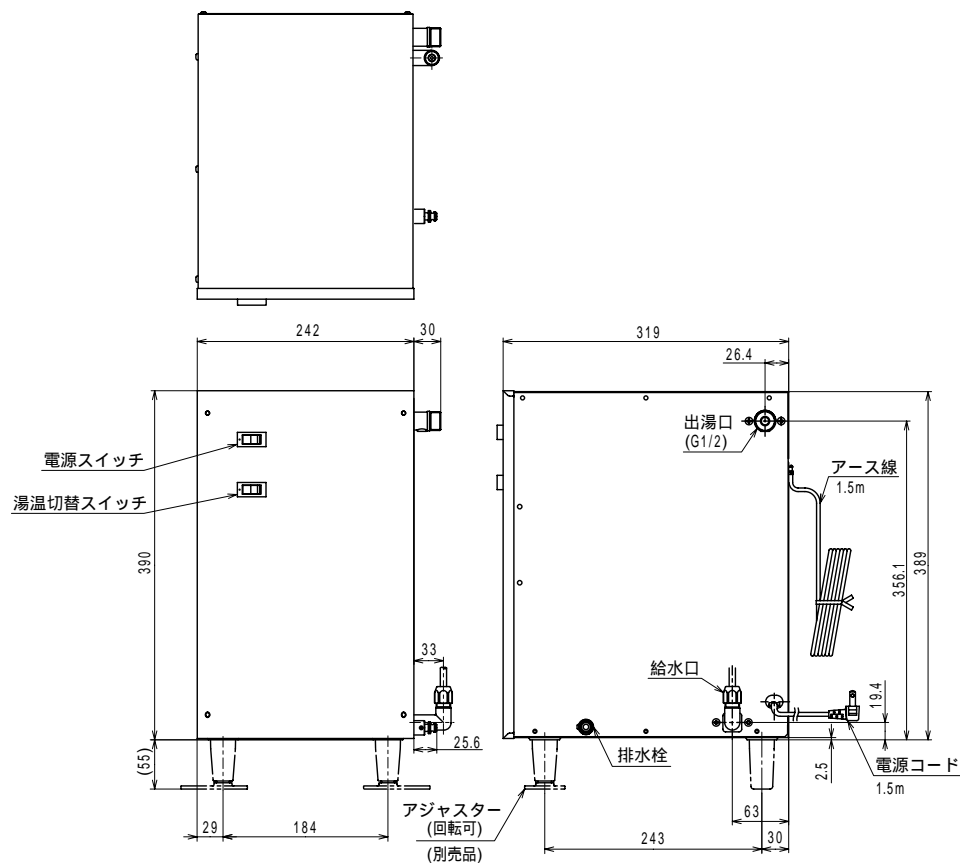
元止め式専用湯水混合栓

機種品番	RE12M	
貯湯量	11.7L	
定格	電圧	単相100V
	周波数	50 / 60Hz
	消費電力	505W
給水方式	元止め式	
沸き上がり温度	約60（約85切替可）	
沸き上がり時間（入水温15℃）	約1時間20分（約2時間）	
製品寸法	幅242mm×奥行319mm×高さ390mm	
製品質量（満水時質量）	約6kg（満水時約18kg）	
電源コード長さ	約1.5m	
安全装置	温度過昇防止器	手動復帰式バイメタル
	アース	アース線（約1.5m）
使用条件	使用雰囲気温度	0～40（凍結不可）
	使用水圧	0.05～0.75MPa

5 寸法図

【RE12M型】

(単位：mm)



6 別売品一覧

※★は必要別売品です。

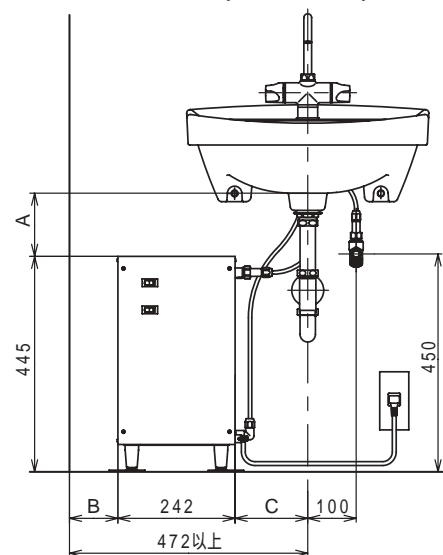
品名	形状	品番	備考
★アングル型止水栓		TL347C	一般地用 給水用フィルター付 (壁給水用)
		TL347CVU	寒冷地用
★ストレート型止水栓		TL348C	一般地用 給水用フィルター付 (床給水用)
脚		RHE1N	—

7 施工例

施工およびメンテナンスのためのスペースを確保してください。

2ハンドル混合栓（1穴タイプ）

(単位：mm)



- A寸法：10以上
脚のアジャスター調整に必要な寸法。
- B寸法：100以上
脚を固定するためのねじ止めができる寸法。
- C寸法：130～290
混合栓の接続管を接続できる寸法。

8 取付け手順

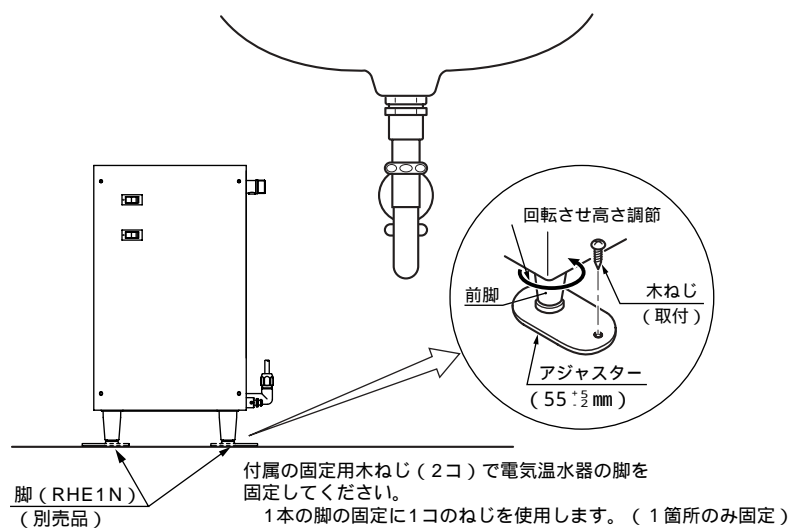
注意

- この電気温水器は元止め式です。
水栓は専用セット品の元止め式専用湯水混合栓を必ずご使用ください。
- 給水前に必ず止水栓を開け、バケツ2杯（約20L）程度の水を捨ててください。
（ゴミ等が機器本体内に入ると故障の原因となります。）

1. 電気温水器の設置

〈水がかかる様な床に直に設置する場合〉

必ず別売品の脚（RHE1N）をご使用ください。



2. 専用湯水混合栓の取付け

(1) 専用湯水混合栓の仮固定

- ① 取付穴周囲の汚れを取り、TOTOマークが正面を向くように本体脚部を取付穴に差し込んでください。

注意

- パッキンを必ず取り付けてください。
- 取付穴φ35に取り付ける場合、平パッキンを専用湯水混合栓に同梱の段付きパッキンに取り替えてください。
（平パッキンのまま取付穴φ35に取り付けると、水漏れ、ガタツキの原因となります。）

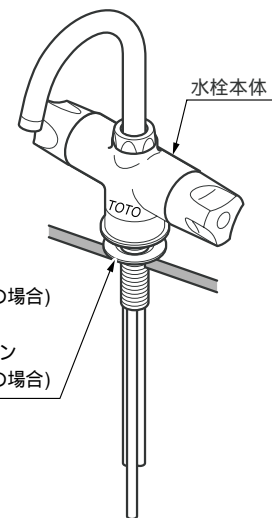


平パッキン
（φ28用）



段付きパッキン
（φ35用）

平パッキン
（取付穴 28の場合）
または
段付きパッキン
（取付穴 35の場合）

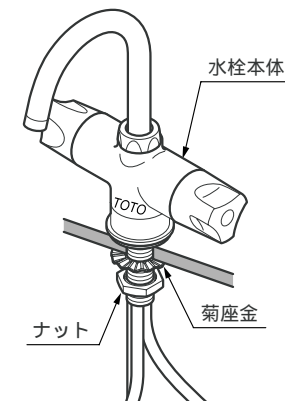


注意

TOTOマークを後ろに向けると湯・水のハンドルが逆になります。

- ② 菊座金、ナットを手締めで仮固定してください。

※ 工具を用いての固定は、各接続管と電気温水器を接続後に行います。

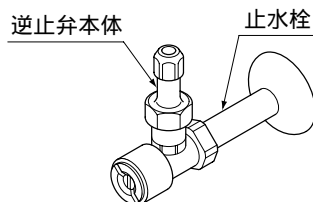


8 取付け手順 (つづき)

(2) 逆止弁本体の取付け

●一般地用の場合

専用湯水混合栓に付属の逆止弁本体を止水栓にねじ込んでください。

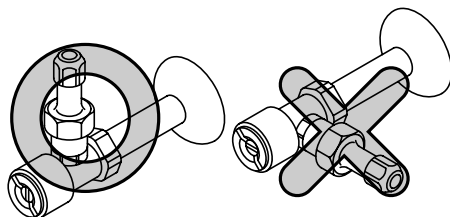


注意

止水栓は別途ご用意ください。
水栓、電気温水器へごみが入らないようフィルター付止水栓をご使用ください。

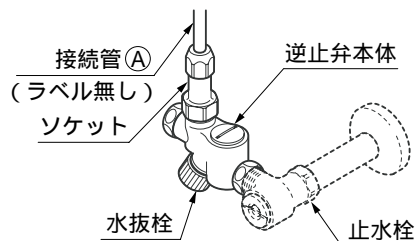
必ず行う

逆止弁本体は垂直に取付けてください。
横向きにすると接続管が抜けるおそれがあります。



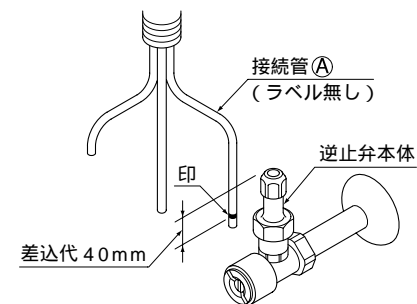
●寒冷地用の場合

専用湯水混合栓に付属の逆止弁本体を止水栓に取り付けてください。
このとき、水抜栓が下になるようにしてください。

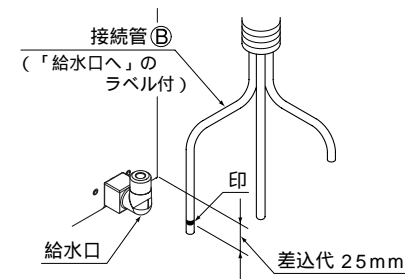


(3) 接続管の寸法合わせ

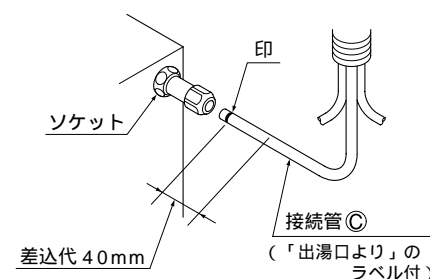
●接続管①〔φ7…600mm、ラベル無し〕は逆止弁本体に接続します。
必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。
このとき差込代を40mm確保してください。



●接続管②〔φ7…900mm、「給水口へ」のラベル付〕は温水器の給水口に接続します。
同梱の袋ナットを給水口に仮に付け、必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。
このとき差込代を25mm確保してください。
※印を付けた後、袋ナットは外してください。



●接続管③〔φ7…620mm、「出湯口より」のラベル付〕は温水器の出湯口に接続します。
①専用湯水混合栓に同梱のソケットを出湯口にねじ込んでください。
②接続管③の必要な長さを確認し、切断位置に印を付けてください。このとき差込代を40mm確保してください。



(4) 接続管の切断

水栓を取外して、前項で印をした箇所を切断してください。
切断の際のバリや切粉は十分取り除いてください。

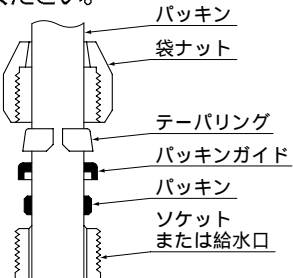
8 取付け手順 (つづき)

3. 電気温水器との接続

注意 接続管は必ず上り勾配になるようにしてください。

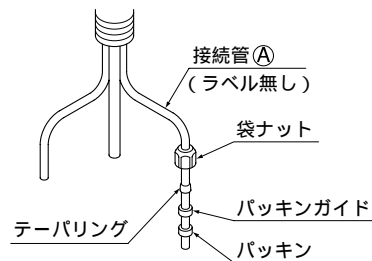
袋ナットは手で強くねじ込んだ後、さらに工具を使って、1回転以上ねじ込んでください。

テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないでください。

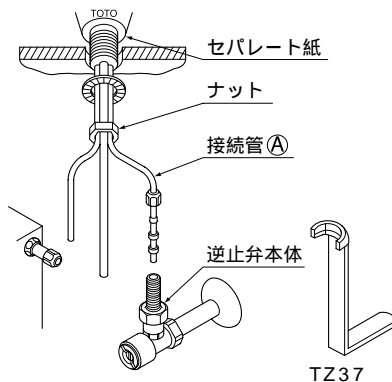


注意 工事の際、接続管をつぶさないように注意してください。

① 逆止弁本体の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを接続管(A)〔φ7…600mm、ラベル無し〕に入れてください。

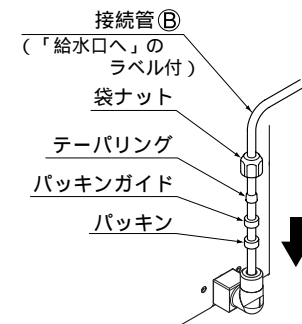


② 水栓全体を一旦持ち上げ、セパレート紙をはぎ取ってから接続管(A)が逆止弁本体に入るよう押し下げてください。入ったら水栓本体をナットでしっかり固定し、接続管の袋ナットを工具で十分に締め付けてください。なお、ナットの締め付けは専用工具 (TZ37) をご利用ください。

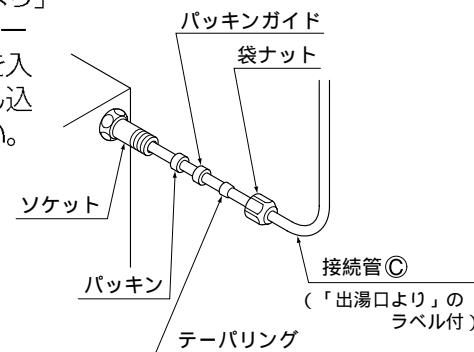


注意 接続管(A)は、逆止弁本体のストッパーに当たるまで差込んで袋ナットを工具で十分に締め付けてください。

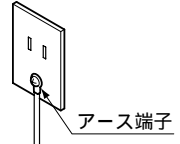
③ 接続管(B)〔φ7…900mm、「給水口へ」のラベル付〕に、同梱品の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付けてください。



④ 接続管(C)〔φ7…620mm、「出湯口より」のラベル付〕に、出湯口の袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れてから、ストッパーに当たるまで差し込み、袋ナットを十分に締め付けてください。



9 電気工事について

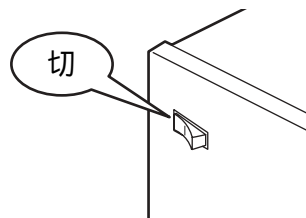
<p>必ず実行</p>	<p>使用する電源、消費電力を本体の銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。 (火災の原因になります)</p> <p>電気工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者(電気工事士)」が行ってください。 また、必ず漏電遮断器を取り付けてください。 (誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。)</p>
<p>アース接続</p>	<p>アース線をコンセントのアース端子に取り付けてください。</p> 

10 試 運 転

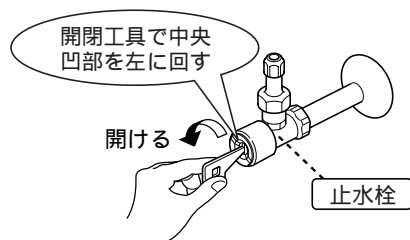


タンクが空のときは絶対に電源スイッチを入れないでください。
(空だきとなり故障、事故の原因になります。)

①電源スイッチが「切」になっていることを確認してください。



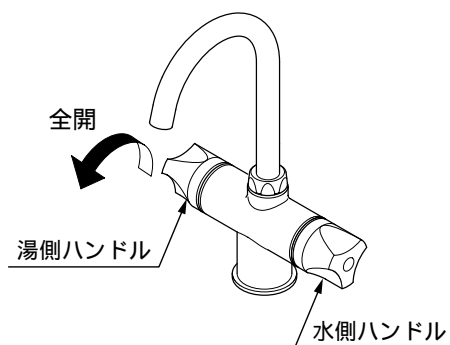
②止水栓に付属の開閉工具で止水栓を開けてください。



注意

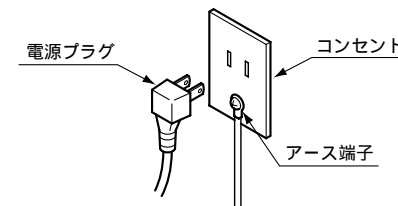
給水管に塩ビ管を使用している場合は、接着剤が完全に乾いてから通水してください。
(水から臭いがするおそれがあります。)

③電気温水器のタンクを満水にしてください。
湯側ハンドルだけを全開にし、2分程度お待ちください。吐水口から水が安定して出はじめるとタンクは満水です。

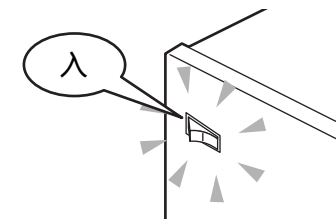


④専用湯水混合栓の湯側ハンドルを閉め、配管接続部に水漏れがないか確認してください。

⑤電気温水器の電源プラグをコンセントの根元まで確実に差し込んでください。



⑥電源スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認してください。



空焚き禁止

(タンクが満水になる前に電源スイッチを「入」にしないでください)

⑦沸き上がると自動温度調節器が作動し、電源スイッチのランプが消灯します。

<沸き上がり時間の目安>

給水温	5℃ (冬)	15℃ (春・秋)	25℃ (夏)
沸き上がり温度			
約60℃	約1時間40分	約1時間20分	約60分
約85℃	約2時間20分	約2時間	約1時間50分

11 水抜き方法

試運転後、引き渡しまで長期間使用しない場合は、次の要領で機器内の水を抜いてください。



必ず行う

電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いてください。
(空だきとなり故障、事故の原因となります。)

①専用湯水混合栓の湯側ハンドルを開け、タンク内の湯を完全に出してください。

(タンク内に湯が残っているとやけどするおそれがあります。沸き上がり直後の湯温は約60℃になります。)

(85℃に設定変更している場合は約85℃になります。)

②湯を出し切ったら、止水栓に付属の開閉工具にて止水栓を閉める。

③電気温水器の排水栓に付属の排水ホースを差し込み、左に回す。排水が始まります。

※専用湯水混合栓の逆止弁本体に水抜き栓が付いている場合は、止水栓を閉め、水抜き栓から専用湯水混合栓の水を抜いてください。

(タンクが満水るとき、水抜きは約12分かかります。)

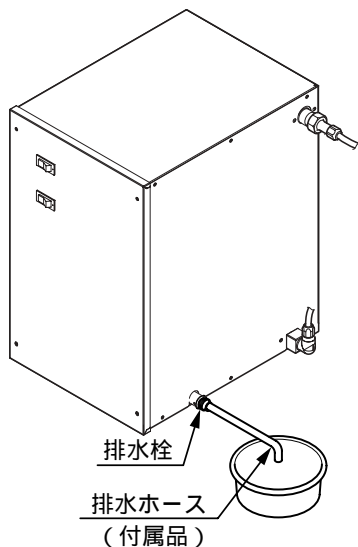
④タンク内の水が排水されたら、排水栓を閉じてください。

⑤湯側ハンドルを閉じてください。

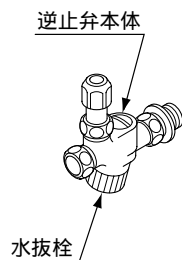
※排水栓が閉じられていないと、専用湯水混合栓からの吐水時に水が飛び出します。

※専用湯水混合栓の逆止弁本体に水抜き栓が付いている場合は、水抜き栓を閉じてください。

以上の操作で水抜きは完了です。



※水を抜く際は、必ず受け皿等で受けてください。



配管の凍結予防

運転スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水・出湯側の各接続管に保温材または凍結予防ヒータを巻いてください。